



山中みさお県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

**ストレス
チェック**

県職員の85%が受検

9月県議会一般質問に登壇

県議4期目に入り、県政の中心議員として発言力を増す千葉市若葉区選出の山中操（やまなか・みさお）県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇しました。質問ではストレス社会を迎え、県職員を対象としたストレスチェックの実施状況やその対応を質問したほか、中小企業の健全な経営に欠かせない県保証協会の業務の現状などをたどりました。また、議会内に設置されている動物愛護議員連盟など4議連の会長職を兼務しており、山中県議の主な一般質問の要旨と合わせ、各議員連盟の活動状況などを特集しました。



壇上から語りかける山中県議

職場環境の改善を検討へ

山中議員 現代はストレス社会だと言われていますが、人が組織の中で仕事をしていく上では、外部からさまざまなストレスを受けます。

仕事の内容が配置換えによつて急激に変化したり、取引先からのクレームへの対応だったり、職場内の人間関係の不調和だったり、ひどい場合は「セクハラ」「パワハラ」などによつて、非常に強いストレスを受けることもあります。

また、昨今では長時間労働に従事せざるを得ない状況に追い込まれることも、典型的なストレスの原因の一つです。県職員を取り巻く労働環境は、近年の社会経済情勢の変化や高度情報化の進展、また地方分権等により、複雑かつ多様化しています。

千葉県の知事部局職員に対するストレスチェックの実施状況はどうか。

総務部長 知事部局では、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止する観点から、労働安全衛生法で努力義務とされている職員50人未満の所属を含め、本庁及びすべての出先機関を対象にストレスチェックを実施することとしました。

また、実施に当たっては職員が安心して受検できるように、検査結果を取り扱う事務従事者の指定や留意事項に関する説明会を開催しました。この結果、全職員の85%に当たる6259人が受検しました。

山中議員 ストレスチェックの結果をどのように活用していくのか。

総務部長 結果については、速やかに職員に通知し、自らのストレスへの気づきや自主的な対処を促すとともに、ストレスが高い職員については、本人の希望に基づき、産業医による面接指導を実施し、就業上の措置につなげることにしています。

また、所属ごとに集計分析し、職場環境の改善方法の検討などに活用してまいります。さらに、今後改定を予定している職員のメンタルヘルスプランの策定に当たり、有効な対策を構築するための資料としても活用していきたいと考えています。

信用保証業務 中小企業の経営へ要望

山中議員 信用保証協会は、これからも中小企業の健全な経営を支えるため、なくてはならない機関であると認識していますが、日銀のマイナス金利政策導入後の保証状況はどうか。

山中議員 信用補完制度の見直し状況はどうか。

商工労働部長 マイナス金利が導入された今年2月から8月までの千葉県信用保証協会の保証承諾額は、約3008億円で、前年同期比97・7%でした。

マイナス金利政策導入からの期間が短いため、現時点では承諾額及び債務残高とも大きな変化は見られませんが、今後とも保証状況を注視してまいります。

商工労働部長 中小企業の発展に資する持続可能な信用補完制度の確立に向けて、中小企業政策審議会に設置された金融ワーキンググループでは、これまで8回の会議を開催して論点整理や関係機関へのヒアリング等を行い、中間的な整理を公表しています。

取りまとめの時期はまだ示されていませんが、県内中小企業の資金繰りに問題が生じないよう適切に対応してまいります。

要望 信用保証制度は、中小企業の特徴を踏まえて、これを補完するものであり、経営を持続させていくことに不確実性が高い中小企業に対する安定的な資金供給のため、信用保証制度が果たしている役割は極めて大きいものです。

信用補完制度の見直しにより、中小企業の資金繰りが困難になることがないよう、県としても国に対し必要な働きかけを行うことを強く要望します。

●若葉区や県政へのご相談、ご要望をお聞かせください

山中みさお県議事務所
TEL.043(234)5252

〒264-0024 千葉市若葉区高品町1585-21

HPもご覧下さい。… <http://www.yamanakamisao.jp>

議員連盟の会長として活動

犬猫の殺処分ゼロ目指し！

山中操県議は、県議会内で組織されている動物愛護議員連盟、高齢者支援対策議員連盟、空き家対策推進議員連盟、ボーイスカウト振興議員連盟の各会長職などを兼任し、それぞれの分野で活発な活動を展開しています。議員連盟(議連)は、各議員が関心のある行政課題を独自に調査・研究し、県などの行政機関に提言したり、働きかけするための組織で、議員の自主的な活動に基づいています。

動物愛護議員連

動物愛護議員連盟は、飼い主のいない犬や猫の殺処分ゼロを目指し、動物愛護に関する普及啓発や、飼い主を特定する情報を記録した「マイクロチップ」の装着推進などの活動を続けています。本年6月には、千葉県獣



マイクロチップ読取機の贈呈式

医師会からマイクロチップを簡単に読み取ることのできる装置「据置型マイクロチップリーダー」1台が寄贈され、迷子犬・猫の飼い主探しや、地震などの災害発生時に被災した動物たちの身元を確認する際に役立つことが期待されています。また、「地域猫活動」にも、県や市町村と連携して取り組んでいます。地域猫活動とは、飼い主のいない猫に対し、地域住民が主体的に餌や糞尿の管理、不妊去勢手術、さらには周辺美化などを行い、野良猫の

数をこれ以上増やさないよう、一代限りの生を全うさせようとする活動のことで

特養整備や地域ケア

高齢者支援対策議連

超高齢化社会を迎えて、高齢者問題は喫緊の課題です。県議会の高齢者支援対策議員連盟は、県内における各種の高齢者対策を調査・研究し、県に対し政策立案を提言しています。中でも入所待ちの高齢者が多い特別養護老人ホームの建設促進は重要課題です。千葉県では、特別養護老人ホームの整備促進のため、平成27年度から整備費

また、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療と介護を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて、実施主体である市町村を支援していく方針です。

増加する空き家戸数

空き家対策推進議連

千葉県内の空き家の状況は、平成25年の総務省の調査によると、空き家の総数は36万7200戸に上り、空き家率が12.7%に上っています。全国平均の13.5%より若干下回っていますが、県内の空き家戸数は年々増加を続けています。このため、空き家対策推

達成するために必要な事業

の展開などを目的に掲げて活動を開始しました。

空き家対策への県の取り組みとしては、昨年度作成した「実態把握調査マニュアル」「空き家等対策計画作成の手引き」等を活用し、市町村での空き家の実態調査や対策計画の作成を進めることにしています。

また、県と54市町村で構成される「千葉県すまいづくり協議会 空き家対策検討部会」で、庁内関係課や関係団体と連携し、特定空き家等の判断指針の作成

青少年の健全育成願い ボーイスカウト振興議連

日本ボーイスカウト千葉県連盟が設立されたのは昭和24年3月と歴史は古い。自主性と社会性を備えた青少年の健全育成を行うとともに、強い責任感と思いやりの心を持った社会人の育成を目指しています。

本年4月現在の加盟員数は6285人。名誉役員には、顧問の森田健作知事、相談役の内藤敏也県教育長が名前を連ねています。県議会のボーイスカウト振興議員連盟の会長は山中操議員です。

ボーイスカウトの主なボランティア活動は、10月23日に開催されたアクアマラソン



ボーイスカウトの活動(千葉県キャンポリーで) 千葉日報社提供

と協議会設置の手順、空き家相談への対応マニュアルの作成及び利活用に係る事例集などの検討を進めることにしています。

2016で、約1000人がランナーへの給水奉仕活動を行ったほか、終戦の日を実施された千葉県忠霊塔拝礼式の準備作業などがありました。

また、県連盟に加入する109団から約800人のボーイスカウトと、指導者や運営関係者約200人が参加して8月9日から14日まで、富津市内で「第20回記念千葉県キャンポリー」が開かれました。

同大会は、スカウト教育法を忠実に実施することで、スカウトたちが本来の活動の楽しさを体感して、活動への新たな意欲を高めること

監査委員

監査委員は、地方自治法に基づいて県の実施した各種事業について、事業の内容や財務の適正性を監査するもので、監査委員は複数で構成されますが、合議制ではなく独任制であるため、監査委員会と異なります。

山中県議は、本年6月に県議会から監査委員に選任され、9月末には「定期監査」として、県の115機関の財務に関する執行等の監査を行い、監査報告書を議会並びに知事などへ提出しました。

また、「決算審査」として平成27年度の県の決算状況について審査を行い、意見書を知事に提出しました。ほかにも「月例出納検査」では、現金の出納についても検査を行っています。